

令和5年度 一般選抜公立大学中期日程 経済学部 小論文  
出題の意図と解答の傾向

【出題の意図】

伊藤亜紗（2015）『目の見えない人は世界をどう見ているのか』（光文社）47-57 ページから出題した。その文章では、目の見える人と見えない人では得られる情報が異なり、その違いが情報への考え方や行動に関する相違をもたらすことが述べられている。出題者としては、目の見えない人の考え方や行動から何を学ぶことができるかを受験者に考えてほしいという意図があった。

総評

解答者には、文章の内容を理解し、そこで取り上げられている話題と関連づけて、自らの経験や考えを述べることを期待されている。しかし、文章の要点を適切に表現することができていない答案や文章の話題と関係のない事例や考えを述べている答案が存在した。また、形式等に関しては、主語、目的語などが省略され、文意がはっきりしないものや、字が汚く読みにくい答案がみられた。

問1

問1は、目の見える著者と目の見えない木下さんとの間で、道のイメージについてどのような違いがあるのかを問うている。出来事の具体的説明で用いられた語句ではなく、両者の特徴を簡潔に表現する語句を選び、答案をまとめる必要がある。

【解答の傾向】

- 道のイメージとして説明していない答案や両者の違いを対比させて明確に述べていない答案がみられた。
- 出来事の具体的説明で用いられた表現（例：ベルトコンベア）をそのまま使用している答案や、抽象的な言葉のみを用いることで十分な説明になっていない答案が存在した。
- 著者と木下さんとのどのような違いが道のイメージの違いをもたらしているのかを適切に表現できていない答案があった。

問2

問2は、目が見えなくなったとき、難波さんがどのようなことに不安を抱え、やがてどのような考えをもつに至ったかを説明する問題である。ここでも、出来事の具体的説明で用いられた語句ではなく、両者の特徴を簡潔に表現する語句を選び、答案をまとめることが必要である。

【解答の傾向】

- 出来事の具体的説明で用いられた表現をそのまま使用しており、失明前後の違いを明確に表現していない答案が存在した。
- 文章にはない言葉で言い換えようとした結果、不安の内容や考えに関する表現が文意からず

れたものになった事例があった。

- 目が見えなくなったことで難波さんが陥った状況などについては述べているものの、不安や考え方について明確に述べていない答案がみられた。

### 問3

問3では、目が見える人と見えない人の間で、環境から受ける刺激や、その刺激が導く買い物行為についてどのような相違があるかを説明することが解答者に求められている。解答では、「情報」と「欲望」という言葉を使用する必要がある。

#### 【解答の傾向】

- 出来事の具体的説明で用いられた表現をそのまま使用しており、両者の特徴を明確に表現していない答案が存在した。
- 「目の見えない人は欲望がない」といったように、「欲望」の使い方を間違っている事例があった（目が見えない人にも欲望はある）。
- 買い物行動について十分説明していない答案がみられた。

### 問4

問4は、文章の内容を踏まえた上で、自分の経験を披露し、それらと関連づけて、望ましい考え方や行動について主張する問題である。その際、次の二点を意識する必要がある。第一に、目の見える人は、視覚によって多くの情報（その中には必要ない情報もある）を得るため、他者によって欲望が作られるということである。第二に、目の見える人は、必要ない情報に刺激され、目的外の行動を取らされてしまうことがあることである。

多くの答案では、望ましい行動として、(1) 十分な時間を確保して取るべき行動を吟味する、(2) 目標を明確にする、計画を立てるなど、目的外の行動をとらないよう工夫する、(3) 所持金を少なめにして購入可能額を制限する、といったことが指摘された。採点においては、文章の内容に沿った問題の解決が検討され、解決策として説得的である限り、考え方や行動の有効性の違いで得点差は付けなかった。

#### 【解答の傾向】

- 目の見える人が必要ない情報を得る結果、目的外の行動をとらされてしまう問題と直接関係のない内容（例：より多くの情報を集める。情報の間違いを見抜く）の答案があった。
- 自分の経験ではなく、たとえ話や一般論を述べている答案がみられた。
- 考え方と行動の説明が抽象的すぎて具体的な理解が困難な事例や、それぞれについて明確な説明が行われていない事例が存在した。
- 本文の引用が多すぎる答案や話題や論理に一貫性が乏しい答案があった。文章量を無理に増やそうとしたからかもしれない。